



暗黒も光の流を流すテカレと云ふこと  
と原初的現象の動的な概念とを結び

に打ちよせておこう。光の流は方向の中を以て  
長さが $\lambda$ に $\nu$ と $\nu = c/\lambda$  Kelvinの $\nu$ と一致  
するものがあるから → 振動の現象として  
いる。 → 波動現象の振動と $\nu = c/\lambda$

量子論の  
発達の過程が $\nu$ と $\lambda$ の $\nu = c/\lambda$  → しかし、 $\nu = A^2 S$

再考がある。 → 量子論の発展 波動現象  
が先に述べたように → 波動現象の発展

が、 $\nu$ と $\lambda$ 、 $\nu$ と $\lambda$ の間の関係。波動現象  
力を振動として、波動現象の発展として、

その概念として、波動現象の発展  
現象として → 量子論の発展

量子論の $\nu = c/\lambda$ の $\nu$ と $\lambda$ の再考  
である。 → 波動現象の発展の $\nu$ と $\lambda$

primitiveの $\nu$ と $\lambda$ の $\nu = c/\lambda$ と  
の関係と、 $\nu = c/\lambda$  less primitive

の $\nu$ と $\lambda$ の $\nu = c/\lambda$  → 波動現象の  
発展と $\nu = c/\lambda$ の関係

波動現象と量子論による相互関係。相互  
作用。

第一節 量子論

量子論の発展は、Schrodinger 理論の  
発展と $\nu = c/\lambda$ の関係

多価同位体は多価原子核の内部の波動  
関数を求めることは、 $\psi = \sum c_n \psi_n$  の形で、  
基底状態の波動関数、基底状態を求め、  
基底状態の  $\psi_0$  として、 $\psi = \sum c_n \psi_n$  の形に  
展開する。Klein, Jordan, Wigner の  
 $\psi = \sum c_n \psi_n$  の波動関数を求め、 $\psi = \sum c_n \psi_n$  と  
して、 $\psi = \sum c_n \psi_n$  の形に展開する。